

第1回 にちなん子育て会議

「真夏のこばなし with 中村町長」

10年先も安心して楽しく子育てができる日南町であり続けられるよう、子育て当事者の本音を今後の子育て施策のヒントとし、みんなで協働してより良い子育て環境をつくることを目的として「**にちなん子育て会議**」を開催しました。

初回は、中村町長を交え、未就学児から高校生までの子育て奮闘中の保護者が集まり、サイコロトークによる自己紹介の後、「**ここがすごいよ日南町↑** **ここがざんねん日南町↓**」をテーマに、それぞれが自由な雰囲気の中、意見を出し合いました。

この会議は、参加者の同意により原則内容を公表することとして、テーマや形式を毎回変えながら、年に2回程度継続して開催し、その概要をみなさんにお伝えしてまいります。

- ◆日 時 令和8年8月4日(火) 18:00～19:30
- ◆会 場 日南町子育て支援センター(主会場:なかよし教室 託児室:にっこりルーム)
- ◆参加者 11世帯12名(夫婦参加1組)、こども6世帯9名
中村町長、こども若者未来課坪倉課長ほか5名



◆内 容

1. 趣旨説明、こども関連事業概要紹介(説明者:坪倉課長)
2. サイコロトークによる自己紹介(進行:坪倉課長)
3. 座談会(ファシリテーター:坪倉課長 板書:山本主幹)
テーマ「**ここがすごいよ日南町↑** **ここがざんねん日南町↓**」

..... 座談会の記録.....

みなさんから寄せられた声を、内容により大まかに分類してお知らせします。(発言順は不同)

《ここがすごいよ(良い点・まちの誇れる点)》

○まちの環境に関する声

- ・川遊びもできたり、自然豊かな環境で子育てできる。
- ・朝が涼しく過ごしやすい気候
- ・人が少なく静かなためストレスなく暮らせる。
- ・都市部では人のつながりが希薄であったが、日南町の人は親切で魅力がある。
- ・都会で子育てをしたくなかった。候補地は他にもあったが、住んでみてまあ良かったと感じている。
- ・子どもにはまちの良さを伝えながら育てたいし、毎日楽しく過ごせている。



○各種施策に関する声

- ・全国に先駆けて保育料が無償化され、こどもをもう一人産もうかな？と考えるきっかけになった。
 - ・高校進学の際にパソコン、制服、自転車など想像以上に物入りだった。進学等祝金は、大変助かった。
 - ・シアトルとの交流は良い取り組みであり、全員が行けるようにした方が良い。
- ⇒費用負担もあることと、子どもや保護者の考えもあり強制はできない。(町長)

《ここがざんねん（惜しい点・足りない点）》

○買い物環境等について

- ・親子で楽しめる場所がない（大きなショッピングセンターが欲しい。）
- ・赤ちゃん用品（おむつ、ベビーフード等）を購入したくても取扱商品の種類が少なく、町外で買い物せざるを得ない。

⇒いろいろ不都合を感じなくもないが、多少の不便は理解したうえ暮らしているのでさほど気にならない（参加者より）

○住まいに関する声

- ・町外に家を購入する人が多く、子育て世帯がどんどん減少している。
- ・町内に実家があっても親と程よい距離感で暮らしたい人も多く、日南町で育った人が戻って住める物件がない。(Uターンを希望する出身者も居る)
- ・町営住宅は古くなっており若い世代にとって魅力がない。
- ・良い空き家物件が少なく、改装もできない。
- ・(職員から) 子育て世帯に住まいの支援を行う場合、賃貸住宅の家賃支援や住宅の取得にかかる支援などどのような支援を希望されますか？

⇒いきなり住宅取得はハードルが高いので、まずは賃貸住宅に住んでみてから取得という流れが良いと思う。

⇒賃貸住宅はどのような形式が希望か？(職員より)

⇒アパート形式より、戸建てタイプが希望（多数の参加者）

○子育て支援施策に対する声

- ・UIターン者に対する施策に対し、地元で頑張っている人の恩恵が少ないのではないかな？結婚祝金も町内同士の結婚では支給されない。

⇒結婚祝金は、町内在住者も転入者も、定住の意思があれば分け隔てなく支給対象になることを説明（職員より）

- ・勤務の始業が8時からであるのに対し、こども園の土曜日保育の受け入れ時間が同時刻からとなっているので受け入れ時間を早めるよう改善して欲しい。

⇒確認して調整する（町長）

※保育時間は、こども園、なかよし教室ともに8時からとしていますが、現在は、個別の相談により、対応可能な範囲内で対応を行っていることを発言者にお伝えしています。

○交通環境について

- ・地元には高校がなく、早朝や夜に送迎の対応をするのがすごく大変。
- ・朝の一番電車に接続するバスが欲しい。駅への送迎後、始業までの時間を持て余す。
- ・デマンドバスの利用について、定期的な習い事に通うのにも都度予約が必要と言われ、まとめて予約できないものか？

※予約時の説明に誤りがあり実際には対応していることを確認し、発言者にお伝えしました。

- ・事務所への電話が繋がらないこともあり改善を希望する。また、急な予定の変更にも対応できるようにならないか？

⇒より良い公共交通のあり方や計画の見直しを行っているところ（中村町長）

○子育て施策やまちの情報の入手方法について

- ・（職員から）子育てにかかる施策やその他まちの情報はどのように入手していますか？

⇒子育て施策に関する情報は、ママ友、口コミによって入手する人が多数。

⇒参加者全員がHPを利用した経験はあるが、目的になかなかとり着けず利用頻度低い。

⇒町報は、熟読までしないものの、参加者全員がパラパラとページをめくっては見る。

⇒ちゃんねるにちなんは、こどもが出ているときは観ることが多い。

⇒こども園などにチラシなど貼ってあると意外と読んだりする。



中村町長のむすび（要旨）

時間は限られたが、多くの保護者さんからいろいろなお話が聞けて良かった。

幸せの基準は人それぞれであるし、本日お伺いした意見にもできること、できないことがもちろんあるが、これからも「人への投資」を念頭に置き、未来を担うこどもたちがしっかりと成長し、若い力を還元してもらえよう、まちを挙げて育み、支えてまいります。



..... まとめ

第1回目のにちなん子育て会議は、こどもたちも会場に加わり、緩やかな雰囲気の中でテーマを絞らず自由に発言をいただきました。会議の内容は、役場内に限らずHPなどでも広く共有するとともに、会議中に回答できなかった質問等は、確認して随時回答を行います。

こども若者未来課では、より良い子育て環境の実現に向け、次回以降もタイムリーなテーマや、開催方法等を工夫してまいりますので、みなさまのご意見、ご参加をお待ちしております!!